

平成 26 年度

事業報告書

社会福祉法人 標津福社会

社会福祉法人 標津福社会 事業報告

1 はじめに

I. 収支決算状況

平成 26 年度、事務局内で議論した収支事業計画では 1,472 千円の黒字収支を見込んでおりました。しかし、収入予算比 15,683 千円未達成となりました。その大きな要因は退苑者が 18 名（H25 年度実績 8 名）、延空床数も特養 1050 床 短期入所 791 床（H25 年度実績延空床数 特養 453 床 短期入所 489 床）と稼働率が 95%（H25 年度実績 97%）となった実績が大きな要因と考えております。

また、消費税 5%から 8%増税による経費増や新事業に伴う人事計画（6 名）による人件費増、研修に伴う旅費・交通費増により、予算対比では人件費▲11,295 千円、事業費▲812 千円、事務費▲3,483 千円 経費合計▲16,175 千円超過という決算とった。

尚、標津町より新事業に伴う開設準備金（新事業に伴う人件費・研修費等）として 50,000 千円の助成支援がされ、平成 26 年度決算としては、23,842 千円の黒字で迎えることができた。

収入の稼働率問題は今後も予測していかなければなりません、病院・他施設との連携により、最大限の資源活用した運営に心がけた計画、そして連携を強めていかなければなりません。

II. 施設営繕

施設に関しては開設から 22 年目を迎え、老朽化が進んでいるため、施設内の 3 つの整備事業と特養入所者ベッドの一部更新をいたしました。

①非常誘導灯省エネ改修工事	2,440 千円
②はまなす苑南側側居室硝子改修工事	4,622 千円
③はまなす苑避難誘導等路改修工事	1,058 千円
特養入居者ベッド一部更新（20 台）	7,290 千円

平成 27 年度は、特養入所者ベッド含め 3 つの整備事業を計画している。

III. おわりに

平成 27 年度は、既存事業の特養入所・短期入所・通所介護の安定した稼働率を追求し、医療連携を強化していくと共に、今後の高齢化社会に備え、「前例のない超高齢化社会」を全ての町民が安心していきいきと暮らし、元気なお年寄りでもらえるよう、各事業所関係機関との連携の強化を図りながら進めて行きたいと考えます。

2 特別養護老人ホーム標津はまなす苑

【 1.入苑の状況 】

	入苑者数（月末）			満床時 ベット数	稼働 ベット数	稼働率 （%）
	男性	女性	合計			
4月	10	46	56	1,740	1,673	96.1
5月	11	47	58	1,798	1,772	98.5
6月	11	45	56	1,740	1,698	97.5
7月	11	47	58	1,798	1,766	98.2
8月	11	45	56	1,798	1,745	97.0
9月	11	45	56	1,740	1,676	96.3
10月	11	45	56	1,798	1,746	97.1
11月	11	45	56	1,740	1,650	94.8
12月	10	45	55	1,798	1,632	90.7
1月	12	44	56	1,798	1,639	91.1
2月	10	43	53	1,624	1,457	89.7
3月	10	46	56	1,798	1,666	92.6
合計	129	543	672	21,170	20,120	
平均	10.7	45.2	56.0	1764.1	1676.6	95.0
前年平均	11.9	45.5	57.5	1,764	1,726	97.9

- ・前年度（H25）のベッド稼働率が平均で約 98%であった事に対して、平成 26 年度は 95%と減少しているが、辛うじて目標は達成できたという結果となる。
稼働率の低下に繋がった主な原因としては、特に 12 月以降に利用者の退所が相次ぎ、また、「待機者の入所先送り」という状況が多数みられた為、空床となる状況が続いてしまう。

【2. 入院状況・入退所状況】

	入院状況			入退所状況	
	延入院日数	実人数	平均(日)	入所(入苑)	退所(退苑)
4月	35日	3	1.2	1	2
5月	1日	1	0.03	2	0
6月	0日	0	0	0	2
7月	8日	1	0.3	3	1
8月	40日	2	1.3	0	2
9月	4日	1	0.1	1	1
10月	1日	1	0.03	1	1
11月	30日	1	1.0	0	0
12月	78日	4	2.5	2	3
1月	63日	2	2.0	3	2
2月	57日	2	2.0	1	4
3月	43日	2	1.4	4	1
合計	360日			18	19
平均	30日	1.6	1.0		
前年平均	19.8日	1.8	0.6	合計 8	合計 8

・H26年度の入退院が比較的少なかった事に対し、入退所に関しては19件と前年度の倍以上となる結果。

【3. 入院時の病名内訳】

	肺炎(誤嚥性含む)	骨折等	その他
H26	5	1	8

【4.入退所状況内訳】

※ H26.4.1～H27.3.31

状況	入苑			退苑		
	在宅	病院	他施設	入院	死亡	他施設
小計	12	6	0	1	18	0
合計	18			19		

・新規入苑は18名、退苑は19名。

【5. 入苑者の介護度】

※ 人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
介1	8	8	8	8	8	8	8	8	10	11	11	11
介2	7	8	7	7	6	6	6	6	7	6	6	8
介3	8	7	8	9	8	7	7	7	6	7	7	7
介4	17	19	19	19	18	18	18	17	17	17	17	15
介5	18	16	16	16	17	17	18	17	17	16	14	15
平均 介護度	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.4	3.3	3.2	3.3
前年	3.4	3.4	3.3	3.4	3.4	3.5	3.5	3.4	3.5	3.5	3.5	3.5

- ・年間の平均介護度は、男性 3.7 女性 3.3 施設全体 3.44 となっており、H25 年度の平均と同様の結果。

【6. 入苑者の年齢構成】※ 集計日 H27.3.31

	人数	認知
65 未満	2	1
65～69	1	0
70～74	2	0
75～79	8	5
80～84	9	4
85～89	16	9
90～	18	6
合計	56	25

男	平均 年齢	80.5	平均 入苑期間 (ヶ月)	3年0ヶ月
女		86.5		3年4ヶ月
計		85.4		3年4ヶ月

【最高年齢】 男性：98歳 女性：101歳

【最年少者】 男性：62歳 女性：62歳

※年度末には2床の空床がある状況で、4月に2名が入所され満床となる。

※ **認知症**は認知症自立度がⅢa以上の利用者

- ・入所者の平均年齢は 85.4 歳となっており、昨年度の平均 85.7 歳と比較し、ほぼ横ばいの状態が継続している。
- ・平均入所期間は 3 年 4 ヶ月で、昨年度の平均 4 年 6 ヶ月と比較すると、14 ヶ月ほど短縮されている状況。新規入所者が前年度よりも大幅に増えたことが主な要因。

【7. ADL 状況】 ※ 集計日 H27.3.31

① 食事形態

(主食)

	常食	粥	ミキサー	経腸
人数	24	28	1	4

(副食)

	常食	ざく	刻み	極刻み	ミキサー	経腸
人数	20	11	10	5	7	4

- ・便秘傾向の方対象で通常の食事に玄米食を提供。
(排便コントロールに効果がみられている)
- ・8月に夕食時に合わせて中庭で野外食(ジンギスカン等)を実施。
- ・毎月、複式の選択メニューによる手作りのおやつや飲み物などを誕生会喫茶に合わせて提供。

② 入浴の状況

	一般浴	特浴	座浴
人数	12	17	27

③ 移動(歩行)の状態

	自立	歩行器	車イス	リクライニング
人数	14	6	32	4

【8. 家族等の面会状況】

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
18	147	193	231	261	167	186	191	14	5	17	14	1444

- ・年度初めの4月、年末～3月まで面会が極端に少ない状況となっているが、例年同様インフルエンザや風邪などの流行に伴う「面会制限」によるもの。

【9. 会議・委員会等の運営状況】

身体拘束廃止推進委員会 (12回実施)	<ul style="list-style-type: none"> 各フロア別に身体拘束を行っている入苑者の記録と評価を行う。また、身体拘束解除に向けた取り組みを行う。 身体拘束に繋がりそうな入苑者に対して、対応策を検討、実施する。 職員に身体拘束に対する研修(勉強会)を行う。
事故防止対策委員会 (12回実施)	<ul style="list-style-type: none"> 各フロア別に施設内の事故報告について個別対策を検討。 ヒヤリハット報告について各フロア毎に統計をとる。
感染症対策委員会 (12回実施)	<ul style="list-style-type: none"> 施設内点検及び換気扇、入浴設備の清掃。 食中毒、ノロウイルス等の感染症に対する職員研修。 入苑者、利用者、職員の健康状態の確認。 衛生関係備品の確認、準備、指導。
排泄ケア委員会 (12回実施)	<ul style="list-style-type: none"> 個人別の排泄状況の確認。(使用オムツ等の把握も含む) おむつゼロに向けての取り組み計画、実施、状況確認。 排泄関係の職員研修。
行事企画委員会 (12回実施)	<ul style="list-style-type: none"> 特養年間行事の立案、準備、実施。 遊びりテーション(集団機能訓練など)、誕生会喫茶、桜見学、芝桜見学、ビデオ上映、居酒屋、避難訓練(図面上の避難訓練も含む)、母の日、父の日、野外食、バスハイク、お盆法要、夏祭り、水きらりパレード見学、標津神社祭見学、敬老会、運動会、文化祭見学、クリスマス会、餅つき、豆まき等。
研修委員会 (12回実施)	<ul style="list-style-type: none"> 法人内の各研修立案、準備、実施。 内部研修(10回) ※新人研修含む 外部研修(31回) ※札幌、帯広、釧路、根室、中標津等
責任者会議 (12回実施)	<ul style="list-style-type: none"> 諸連絡、調整、法人の事業収支状況報告。
職員(全体)会議 (2回実施)	<ul style="list-style-type: none"> H25年度決算報告、H26年度予算について。 平成26年度人事評価(部門目標・個人目標)など。
主任会議 (11回実施) ※不定期	<ul style="list-style-type: none"> 介護統括主任、フロア主任3名による意見統一、ケア方法や職員対応等の確認。

フロアミーティング (12回実施)	・各フロア別によるケアの確認、調整。
ケアカンファレンス (12回実施)	・特養の個別介護計画の評価、検討。
介護士会議 (12回実施)	・特養ケアに対するケア方法の確認統一など。
医療的ケア対策推進委員会 (12回実施)	・介護職員による喀痰吸引の実施状況の確認、及び問題点の検討や看護職員による注意喚起、指導など。
新設検討委員会 (8回実施)	・法人新事業の開設に向けた検討、協議などの取り組み。
褥瘡対策委員会 (12回実施)	・対象者の状況確認と対処方法の確認、及び要注意の方の情報の共有と対応方法など検討。
安全衛生委員会 (12回実施)	・労働安全衛生法に基づき、職員の労働災害の予防や健康管理を目的とする取り組み。
その他	・入所優先度判定委員会 (10回) ※諸都合により2回中止 ・地域ケア会議 (12回)

【10. 援助実施内容】

(1) 生活援助

① 食事の提供と援助

入苑者の食事摂取状況に応じた食事形態の提供、また食事中の見守り及び、適切な方法で食事介助を提供する事による自立への支援と誤嚥の予防。
また、食事を楽しんでいただく為、季節毎の行事や献立を工夫して提供。

② 入浴介助

H26年度も一般浴（温泉で大きい浴槽）での入浴を継続して提供。
H27年度においても、プライバシーに配慮し、安心・丁寧な介助によりご利用者の清潔の保持、気持ちの安らぐ入浴を提供しています。

③ 排泄介助

「おむつゼロ」への取り組みの一つとして、排泄委員会が中心となり、個々の排泄の状況に応じた排泄方法の見直し等を行ってきました。その結果、H26年度は3名の方がトイレでの排泄が可能となり、2名の方はおむつを使う必要が無くなる。

H27年度についても昨年度と同様、より一層取り組みを強化し、お一人でも多くの方がトイレでの排泄が可能になるよう継続して取り組みたい。

(2) 健康管理

入苑者が心身共に健康で充実した日常生活を送る事ができるよう、個人の健康状態の把握に努め、標津病院等の協力医療機関の協力の下に健康面の管理を行う。

また、感染症流行時期には、ご家族の皆様のご協力により面会制限を実施する事でインフルエンザなどの感染者無く経過。

- ・入苑者健康診断(2回)
- ・入苑者歯科検診(1回)
- ・職員健康診断(2回)

3 標津はまなす苑短期入所生活介護事業所

【 1.利用の状況 】

	延人数 (人)	実人数 (人)	一日平均 利用者数	平均 介護度	稼働 日数	稼働率 (%)
4月	248	29	8.3	2.3	30	91.85
5月	216	27	7	2.1	31	77.42
6月	241	27	8	2.1	30	89.26
7月	201	26	6.5	1.9	31	72.04
8月	211	24	6.8	1.6	31	75.63
9月	206	22	6.9	1.7	30	76.30
10月	250	23	8.1	1.7	31	89.61
11月	224	21	7.5	2	30	82.96
12月	188	23	6.1	2.4	31	67.38
1月	214	21	6.9	2.7	31	76.70
2月	168	22	6	2	28	66.67
3月	127	16	4.1	1.7	31	45.52
合計	2,494				365	
平均	207	23.4	6.9	2.02		75.92
前年平均	233	28.7	7.66	2.1		85.17

- ・9ベット+空床(入院者等の空ベット)の利用型
- ・平均稼働率 75.92%であり昨年(H25)と比較すると約9%の稼働率の減少がみられています。定期的に短期入所を利用されている方の4割ほどが特養へ入所された事が

主な要因と考えられる。

4 デイサービスセンター標津はまなす苑

【 1. 利用の状況 】

	延人数 (人)	実人数 (人)	一日平均 利用者数	平均 介護度	稼働 日数	キャン セル	稼働率 (%)
4月	546	81	24.8	1.2	22	34	70.9
5月	511	84	25.6	1.2	20	32	73.0
6月	503	85	24.0	1.3	21	42	68.4
7月	529	81	23.0	1.2	23	42	65.7
8月	451	82	22.6	1.2	20	60	64.4
9月	516	87	23.5	1.3	22	44	67.0
10月	539	88	23.4	1.3	23	55	66.9
11月	480	87	24.0	1.2	20	35	68.5
12月	411	78	21.6	1.2	19	88	61.8
1月	369	70	19.4	1.1	19	53	55.4
2月	371	74	20.6	1.2	18	52	58.8
3月	422	74	20.1	1.1	21	50	57.4
合計	5,648				248	587	
平均	470	80	22.7	1.2		49	65.0
前年平均	475	83	23.7	1.3		45	73.2

- ・定員 35 名(予防・要介護複合型) 月～金(週 5 日)の営業。祝日も営業
- ・提供時間 9:00～16:10。

- ・平均稼働率は昨年に比べ、65.0%と大きく落ちている。昨年度後半から今年度前半までは順調に利用者が増えていたが、例年に比べ入院者や特養への新規入所者、亡くなる方が多く入所された方が例年だと 5～6 名程度だが、今年度は 15 名程度いた事と、亡くなられた方が 27 名、はまなす苑以外の施設入所や転居、長期入院されている利用者が例年に多くいたことが後半の稼働状況に大きく影響した。
また、今年度は冬期間の悪天候による営業中止や利用者の安全面への配慮や道路の通行止めによる提供地域又は提供時間を制限して営業せざるを得ない日がとても多く例年だと 2～3 日であるが、今年度は 10 日程度あり稼働率を大きく落とした一因

となっていると思われる。

利用実人数は、年平均で80名、利用延人数は一ヶ月の平均470名、一日の平均利用人数22.8人となっており前年度より落ちており、祝日を営業した分が若干カバーしている状況である。

今後も引き続き、サービス内容の充実や利用者本人や家族にとって有益な取組を行うと共に、近隣の他町へのサービス提供も検討し利用者の獲得、稼働率向上を目指していきます。

【 2. 利用者の介護度 】

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
4月	23	11	23	12	5	6	1
5月	23	12	27	12	6	4	0
6月	22	10	28	11	10	4	0
7月	22	11	26	12	7	3	0
8月	26	12	23	13	5	3	0
9月	27	11	25	16	4	4	0
10月	26	11	26	16	4	5	0
11月	29	9	25	17	4	3	0
12月	26	9	20	18	2	3	0
1月	23	9	19	17	1	1	0
2月	27	9	17	18	0	3	0
3月	27	10	19	15	0	3	0

【 3. 地区別集計 】

(H27.3.31 時点)

	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90以上	計
標津町内	1	3	9	14	21	6	54
川北	0	3	3	6	7	9	28
古多糠	0	0	1	0	1	4	6
茶志骨(パ)	0	0	0	1	0	4	5
茶志骨(住)	0	0	0	3	1	1	5
薫別	0	0	1	1	0	1	3
忠類	1	0	1	1	2	0	5
伊茶仁	0	0	3	1	1	2	7
合計	2	6	18	27	33	27	113

5 標津福祉社会居宅介護支援事業所

【 1. 利用の状況 】

	請求 件数	新規者	認知症 Ⅲa 以上	独居高齢 者加算	要介 1	要介 2	要介 3	要介 4	要介 5
4月	21	1	3	5	11	6	0	2	2
5月	22	2	3	5	12	6	1	2	1
6月	23	2	3	5	12	6	2	2	1
7月	21		3	5	9	7	2	2	1
8月	19		4	4	7	8	1	2	1
9月	19	1	3	4	7	9	0	2	1
10月	17		2	4	6	9	0	2	0
11月	17	1	2	4	5	10	0	2	0
12月	18		3	4	5	10	0	2	1
1月	17		3	4	4	10	0	2	1
2月	16	1	3	4	5	9	0	1	1
3月	15	1	3	4	5	8	0	1	1
合計	225	9	35	52	88	98	6	22	11
平均	18.7	0.7	2.9	4.3	7.3	8.1	0.5	1.8	0.9
前年平均	20.9	0.7	3.6	3.7	8.0	8.0	0.3	3.0	1.3

- ・H26年度の平均請求(介護サービスを利用した方)件数は18.7名となっており、前年に比べ若干下がっています。内訳は要介護度が3～5の方の施設入所や、亡くなる方が多かった為と思われます。今後も継続して介護保険新規申込み者の方の居宅担当(居宅介護支援事業所)として受け入れをしていきます。また、介護支援専門員として本人、家族とも安心して生活ができるよう支援をしていきます。

6 訪問配食事業

【 1. 利用の状況 】

- ・H26年度の配食数は年間820食で、延人数は47人(月平均3.9人・実人数9人)の状況でした。今後についても美味しい、栄養バランスの取れた食事に考慮しながら、健康的な食事を提供していきます。また、配食時には給食サービスの特色を生かし、常に声かけをし、利用者の安否や健康状態の把握に努め、必要あるときは、関係機関と密に連絡調整を行い必要な対処ができるよう努めて参ります。